

SOPHIA U

『上智大生のSDGs & サステナビリティ に関する意識調査』報告書（2023年度）

2024年1月29日

上智学院サステナビリティ推進本部

FOR OTHERS, WITH OTHERS

1.上智大生のSDGs&サステナビリティに関する意識調査

SDGs & Sustainability Awareness Survey

回答者数の詳細

| | |
|-------|---|
| 調査目的 | ・上智大生の関心度や意識の把握 ・上智学院サステナビリティ推進本部 の今後の取り組みの参考 |
| 実施・分析 | 上智学院サステナビリティ推進本部 情報発信チーム |
| 調査方法 | WEBアンケート (Microsoft Forms) |
| 調査期間 | 2023年10月26日～2023年11 月28日 (30日間) |
| 回答者数 | 695人 |

| 学年(Grade) | 人数(The number of respondents) |
|--------------------------|-------------------------------|
| 学部1年生 Freshman | 192人(28%) |
| 学部2年生 Sophomore | 172人(25%) |
| 学部3年生 Junior | 113人(16%) |
| 学部4年生 Senior | 141人(20%) |
| 大学院生 Graduate Student | 77人(11%) |
| 合計 Total | 695 (100%) |

()内は全回答者に占める割合

1.アンケート設問 Question

問1. 学生番号 Student Number

問2. 学年 Grade

問3. 学部・学科 Department Faculty

問4. メールアドレス Mail Address(※抽選でQUOカードが当選された方への、連絡用目的のみに使用。)

問5. SDGsについての理解度を教えてください。What is your level of understanding of the SDGs?.

問6. SDGsを知ったきっかけについて教えてください。(複数選択可) How did you learn about the SDGs ? (Multiple choices allowed)

問7. 世界的に重要だと思うSDGs目標はどれですか？(複数選択可) Which SDGs do you think are important as a global task? (Multiple choices allowed).

問8. 日本国内において重要だと思うSDGs目標はどれですか？(複数選択可) Which SDGs do you think are important as a domestic task? (Multiple choices allowed)

問9. 個人単位で重要だと思うSDGs目標はどれですか？(複数選択可) Which SDGs do you think are important for you - as a personal task? (Multiple choices allowed).

問10. あなたが過去に取り組んだ、もしくは現在取り組んでいるSDGs関連の活動はありますか？Please tell us about the SDGs initiatives you have worked on and/or is working on.

問11. 就職活動において、企業を選定する際にSDGsやサステナビリティの取り組みを意識しますか？In your job hunting, are you aware of the SDGs and sustainability initiatives when selecting a company?.

問12. 大学・大学院を選定する際、その大学・大学院が「SDGsやサステナビリティ」にどのくらい力を入れているかを判断材料として重視していましたか？When selecting a university/graduate school, did you focus on how much the university/graduate school committed to "SDGs and sustainability" as a factor in your decision?

問13. 上智大学は、SDGsやサステナビリティに対して、意欲的に取り組んでいると感じますか？Do you think Sophia University is leading on achieving SDGs?






問14. 「上智学院サステナビリティ推進本部」を知っていますか？Have you ever heard of "Office of Sophia Sustainability Promotion (OSSP)" ?

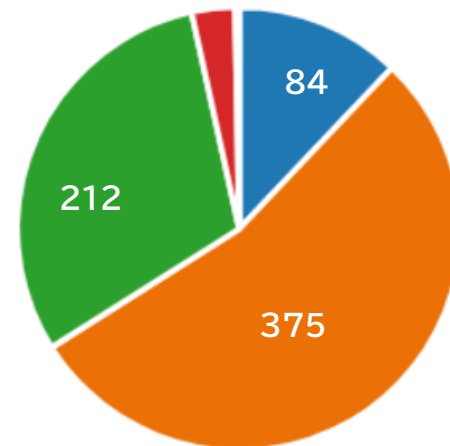
問15. サステナビリティ推進本部が実施している取り組みの満足度を教えてください。(取り組み一部抜粋)Please indicate your level of satisfaction with the initiatives implemented by OSSP. (Excerpts from some initiatives)

問16. 今後、上智大学およびサステナビリティ推進本部が積極的に取り組んだ方がいいと考える、SDGsやサステナビリティに関する活動は何ですか？(例、「プラスチックゼロ運動」「ジェンダー平等に関する活動」)What kind of activities related to the SDGs and sustainability do you think the university should proactively engage in? (e.g. "plastic bottle cap collection campaign").

2. 意識調査結果

Q5) SDGsについての理解度を教えてください。

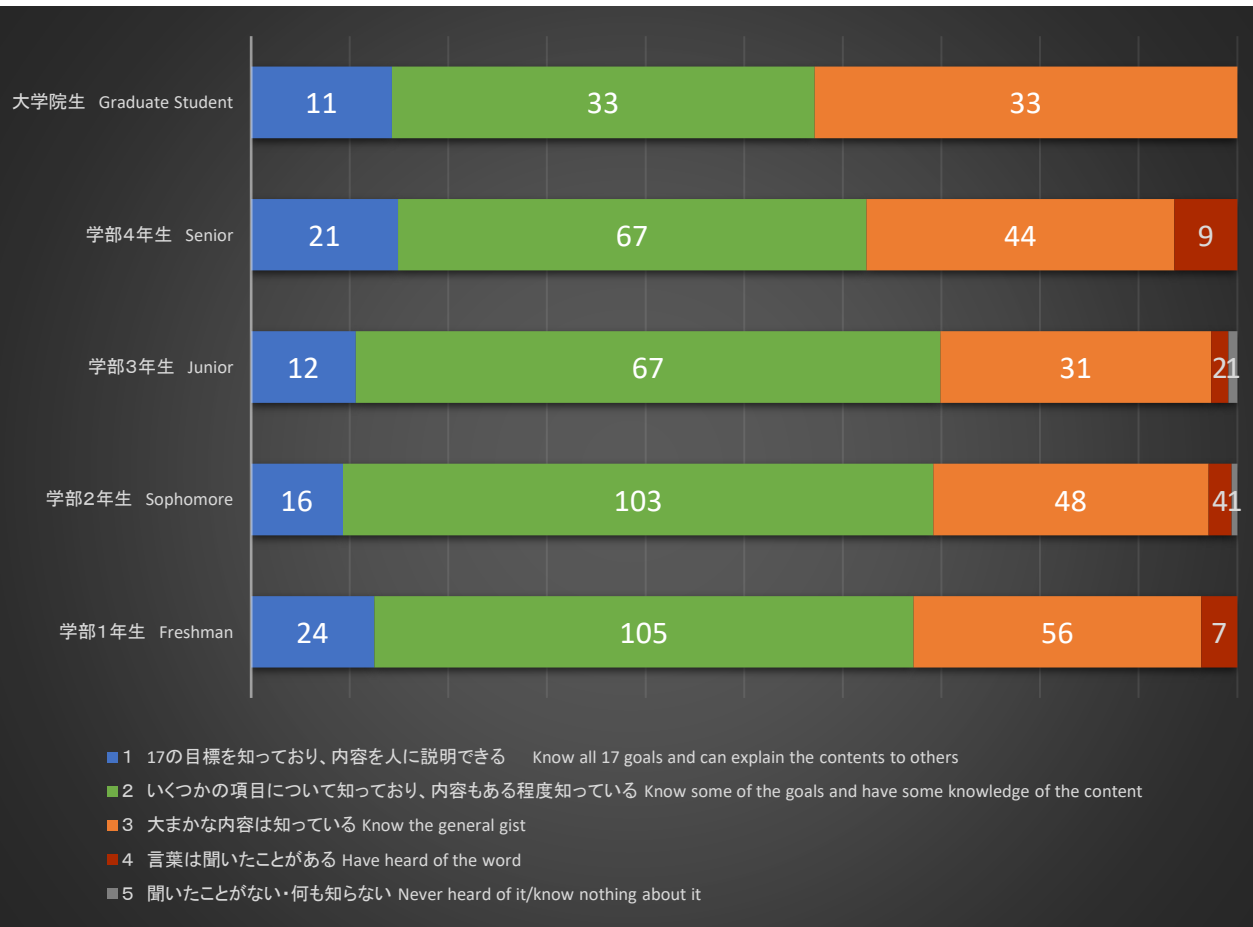
| | | |
|---|--|-----|
|  | 17の目標を知っており、内容を人に説明できる Know all 17 goals and can explain the contents | 84 |
|  | いくつかの項目について知っており、内容もある程度知っている Know some of the goals and have some knowledge of the content | 375 |
|  | 大まかな内容は知っている Know the general gist | 212 |
|  | 言葉は聞いたことがある Have heard of the word | 22 |
|  | 聞いたことがない・何も知らない Never heard of it/know nothing about it | 2 |



SDGsの理解度を調べた結果、「17の目標を知っており、内容を人に説明できる」、「いくつかの項目について知っており、内容もある程度知っている」で、SDGsの項目について知っている学生は過半数を超えていました。

SDGsについて「聞いたことがない・何も知らない」と答えた人は2人でした。「知っている」と回答した学生が96.5%を占めています。

Q5・学年別比較)SDGsについての理解度を教えてください。

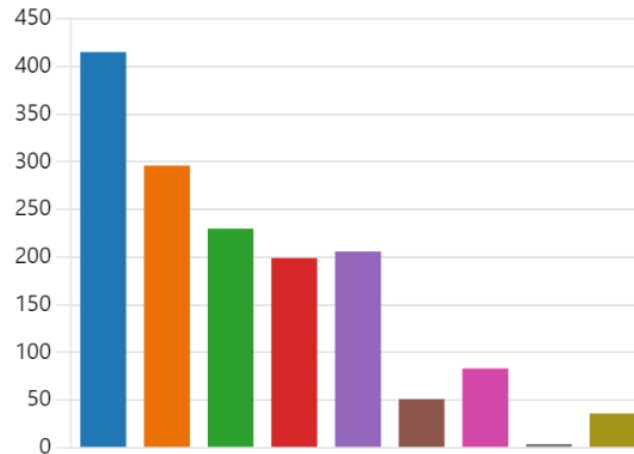


学部生は、学年間で理解度にさほど差はないのに対して、大学院生は「大まかな内容は知っている」以上で回答した人が多く、理解度が高いと思われます。

「17の目標を知っており、内容を人に説明できる」と回答した人の割合は、学部1年生で12.5%、学部2年生で0.9%、学部3年生で10.6%、学部4年生で14.8%、大学院生で14.2%と、詳しい内容までは浸透していないと思われます。

Q6) SDGsを知ったきっかけについて教えてください。(複数選択可)

| | | | |
|---|----------------|---|-----|
| 1 | 高校時代の授業 | Classes in High School | 415 |
| 2 | 大学の講義 | Lectures at the University | 296 |
| 3 | インターネット・ウェブ | Internet or Websites | 230 |
| 4 | SNS | Social Media | 199 |
| 5 | テレビ | Television | 206 |
| 6 | 家族・友人 | Family or Friends | 51 |
| 7 | 課外活動 | Extracurricular Activities | 83 |
| 8 | このアンケートで初めて知った | Knew for the first time through this survey | 4 |
| 9 | その他 | Others | 36 |

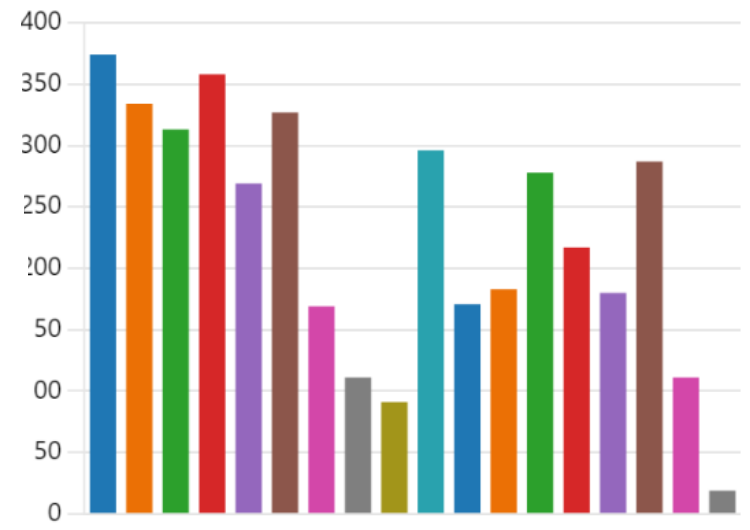


SDGsを知ったきっかけについては、「高校時代の授業」と回答した方が最も多く、次いで「大学の講義」でした。教育機関がSDGsについて認知させることにおいて、最も強い影響力を持っていることが分かります。

また、「インターネット・ウェブ」「テレビ」「SNS」と順に高い割合を占めていることから、メディアの影響力も同様に強いと考えられます。

Q7)世界的に重要だと思うSDGs目標はどれですか？(複数選択可)

| | |
|----------------------------|------------------------------|
| ● 1 貧困をなくそう NO POVERTY 374 | ● 10 人や国の不平等をなくそう... 296 |
| ● 2 飢餓をゼロに ZERO HUNGER 334 | ● 11 住み続けられるまちづくりを... 171 |
| ● 3 すべての人に健康と福祉を G... 313 | ● 12 つくる責任 つかう責任 RE... 183 |
| ● 4 質の高い教育をみんなに QU... 358 | ● 13 気候変動に具体的な対策... 278 |
| ● 5 ジェンダー平等を実現しよう G... 269 | ● 14 海の豊かさを守ろう LIFE B... 217 |
| ● 6 安全な水とトイレを世界中に ... 327 | ● 15 陸の豊かさを守ろう LIFE O... 180 |
| ● 7 エネルギーをみんなにそしてクリ... 160 | ● 16 平和と公正をすべての人に... 287 |
| ● 8 働きがいも 経済成長も DEC... 111 | ● 17 パートナーシップで目標を達... 111 |
| ● 9 産業と技術革新の基盤をつく... 91 | ● 18 特に関心のあるSDGs目標... 19 |

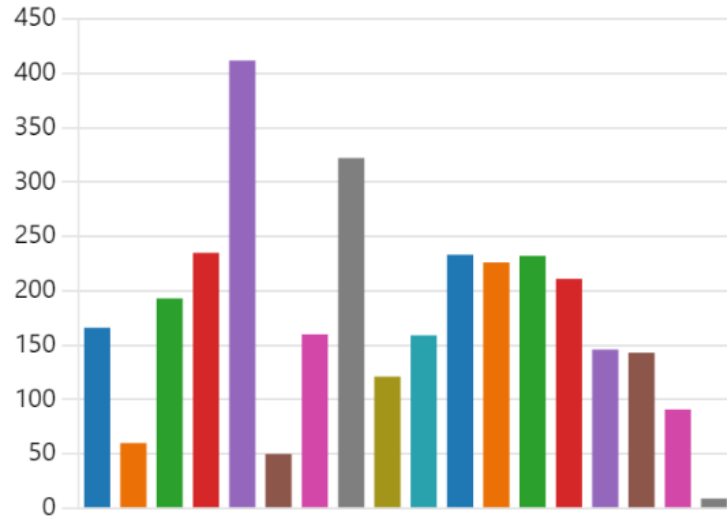


世界的に重要だと思うSDGs目標については、上位から順にSDG1「貧困をなくそう」、SDG4「質の高い教育をみんなに」、SDG2「飢餓をゼロに」、SDG6「安全な水とトイレを世界中に」、SDG3「すべての人に健康と福祉を」、SDG10「人や国の不平等をなくそう」、SDG16「平和と公正をすべての人に」という結果になりました。

昨今のロシア・ウクライナ戦争及びイスラエルとハマスの武力衝突の影響もあり、SDG10「人や国の不平等をなくそう」とSDG16「平和と公正をすべての人に」に高い関心を寄せている学生が増えたのではないかと推測できます。

Q8) 日本国内において重要だと思うSDGs目標はどれですか？(複数選択可)

| | |
|----------------------------|------------------------------|
| ● 1 貧困をなくそう NO POVERTY 166 | ● 10 人や国の不平等をなくそう... 159 |
| ● 2 飢餓をゼロに ZERO HUNGER 60 | ● 11 住み続けられるまちづくりを... 233 |
| ● 3 すべての人に健康と福祉を G... 193 | ● 12 つくる責任 つかう責任 RE... 226 |
| ● 4 質の高い教育をみんなに QU... 235 | ● 13 気候変動に具体的な対策... 232 |
| ● 5 ジェンダー平等を実現しよう G... 412 | ● 14 海の豊かさを守ろう LIFE B... 211 |
| ● 6 安全な水とトイレを世界中に ... 50 | ● 15 陸の豊かさを守ろう LIFE O... 146 |
| ● 7 エネルギーをみんなにそしてクリ... 160 | ● 16 平和と公正を すべての人に... 143 |
| ● 8 働きがいも 経済成長も DEC... 322 | ● 17 パートナーシップで目標を達... 91 |
| ● 9 産業と技術革新の基盤をつく... 121 | ● 18 特に関心のあるSDGs目標... 9 |

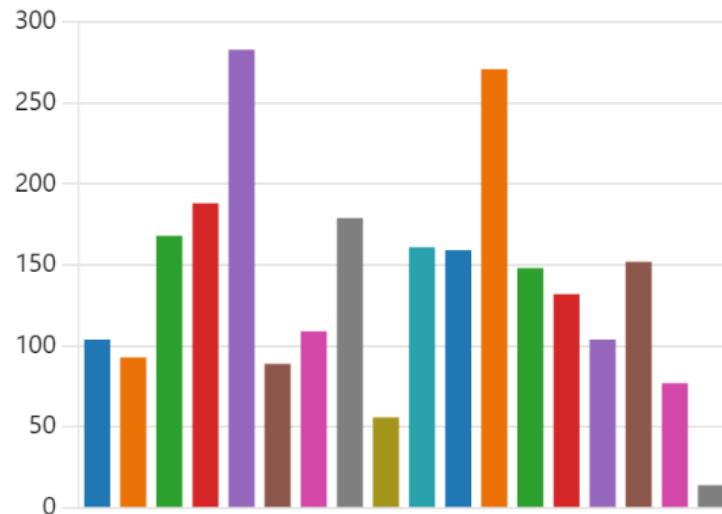


国内においては、SDG5「ジェンダー平等を実現しよう」が最も高く、次いでSDG8「働きがいも経済成長も」が高い結果となりました。2023年のジェンダーギャップ指数が世界で125/146位で、先進国で最下位、日本としても過去最低だったという課題意識や、同性婚や選択的夫婦別姓を巡る動きを受けて、ジェンダー平等への問題意識が高まっていると思われます。

また、働きがいや経済成長に関しては、今後、社会で活躍するにあたって、現状の経済状況を懸念する気持ちから関心が寄せられているのではないかと推察できます。

Q9) 個人単位で重要だと思うSDGs目標はどれですか？(複数選択可)

| | |
|----------------------------|------------------------------|
| ● 1 貧困をなくそう NO POVERTY 104 | ● 10 人や国の不平等をなくそう... 161 |
| ● 2 飢餓をゼロに ZERO HUNGER 93 | ● 11 住み続けられるまちづくりを... 159 |
| ● 3 すべての人に健康と福祉を G... 168 | ● 12 つくる責任 つかう責任 RE... 271 |
| ● 4 質の高い教育をみんなに QU... 188 | ● 13 気候変動に具体的な対策... 148 |
| ● 5 ジェンダー平等を実現しよう G... 283 | ● 14 海の豊かさを守ろう LIFE B... 132 |
| ● 6 安全な水とトイレを世界中に ... 89 | ● 15 陸の豊かさを守ろう LIFE O... 104 |
| ● 7 エネルギーをみんなにそしてクリ... 109 | ● 16 平和と公正をすべての人に... 152 |
| ● 8 働きがいも 経済成長も DEC... 179 | ● 17 パートナリーシップで目標を達... 72 |
| ● 9 産業と技術革新の基盤をつく... 56 | ● 18 特に関心のあるSDGs目標... 1 |

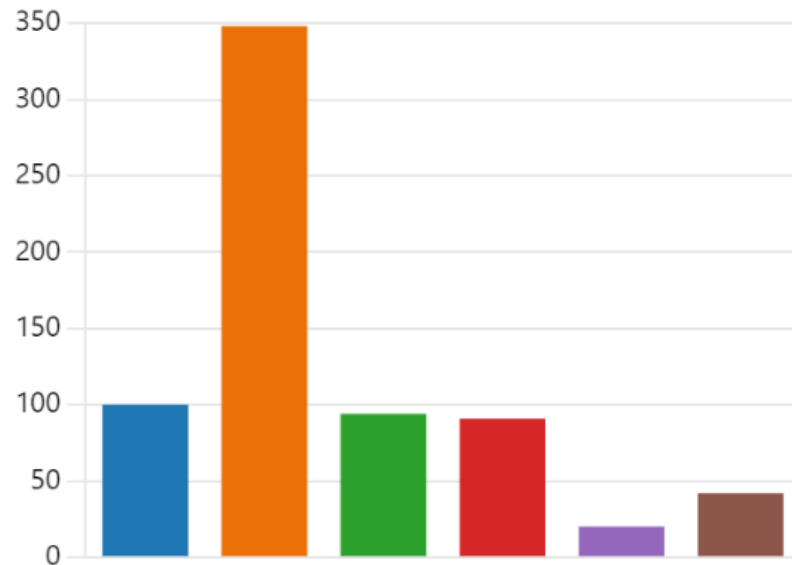


個人単位においては、SDG5「ジェンダー平等を実現しよう」、SDG12「つくる責任つかう責任」が上位を占め、SDG9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、SDG16「平和と公正をすべての人に」は下位という結果となりました。

回答者が150名を超えているSDG目標は、人や環境に関連するものが多く、自分事として捉えやすい傾向にあることが関係していると考えられます。

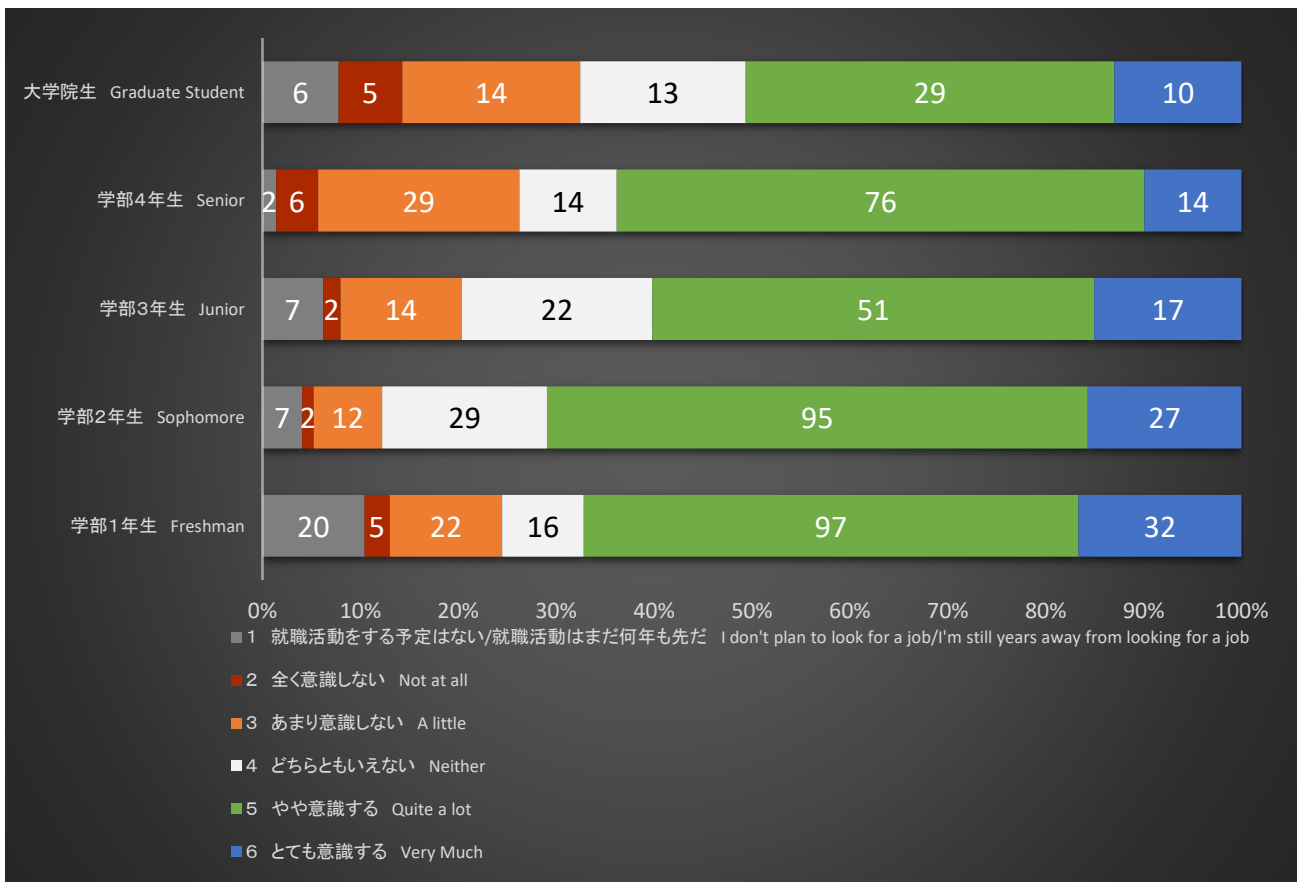
Q11) 就職活動において、企業を選定する際にSDGsやサステナビリティの取り組みを意識しますか？

- 6 とても意識する Very Much 100
- 5 やや意識する Quite a lot 348
- 4 どちらともいえない Neither 94
- 3 あまり意識しない A little 91
- 2 全く意識しない Not at all 20
- 1 就職活動をする予定はない/就職活動はまだ何年も先だ I don't plan to look for a job/I'm still years away from looking for a job 42



就職活動において、企業を選定する際にSDGsやサステナビリティの取り組みを意識するかという設問に対して、「やや意識する」「とても意識する」と回答した学生が全体の約64%を占めており、過半数が企業が実施するSDGsやサステナビリティに関する取り組みを就職先の選定基準として意識していることが伺えます。

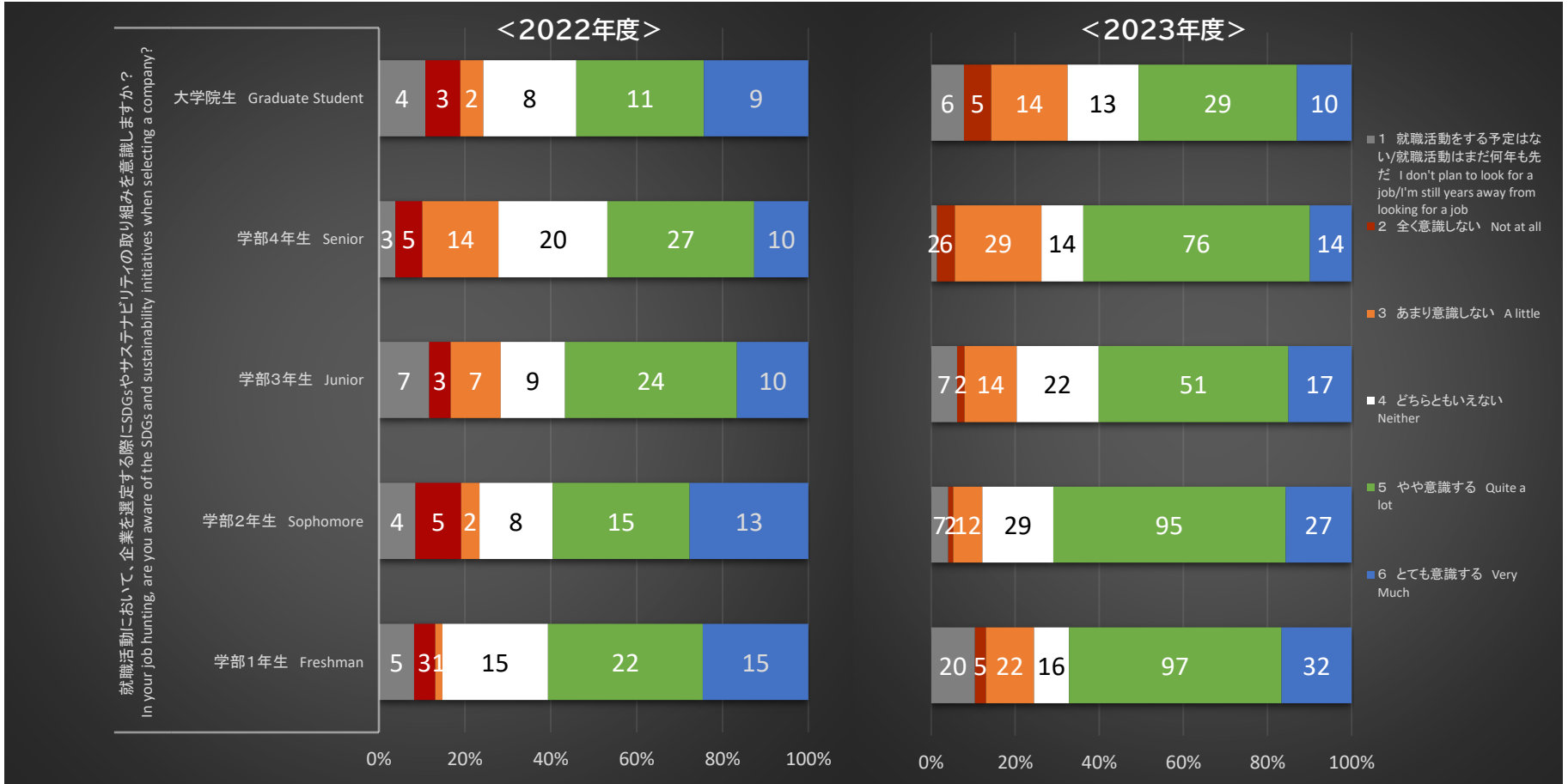
Q11・学年別比較) 就職活動において、企業を選定する際にSDGsやサステナビリティの取り組みを意識しますか？



就職活動におけるSDGsやサステナビリティの取り組みを意識する傾向にあることが分かります。

特に学部2年生で「とても意識する」「やや意識する」と回答した人が多く、早い段階からの就職活動が意識されはじめていることも関係していると思われます。

Q11・学年別/前年度比較) 就職活動において、企業を選定する際にSDGsやサステナビリティの取り組みを意識しますか？



Q12) 大学・大学院を選定する際、その大学・大学院が「SDGsやサステナビリティ」にどのくらい力を入れているかを判断材料として重視していましたか？

<2022年度>

| | | | |
|-----|---------------|--|----|
| ● 5 | とても重視していた | Very much | 24 |
| ● 4 | やや重視していた | Quite a lot | 60 |
| ● 3 | あまり重視していなかった | A little | 87 |
| ● 2 | まったく重視していなかった | Not at all | 43 |
| ● 1 | 意識したことがなかった | Never thought of it in the first place | 70 |



前年度と比較して、2023年度は進学先のSDGsやサステナビリティの取り組みを「あまり重視していなかった」と回答した人の割合が高い結果となりました。

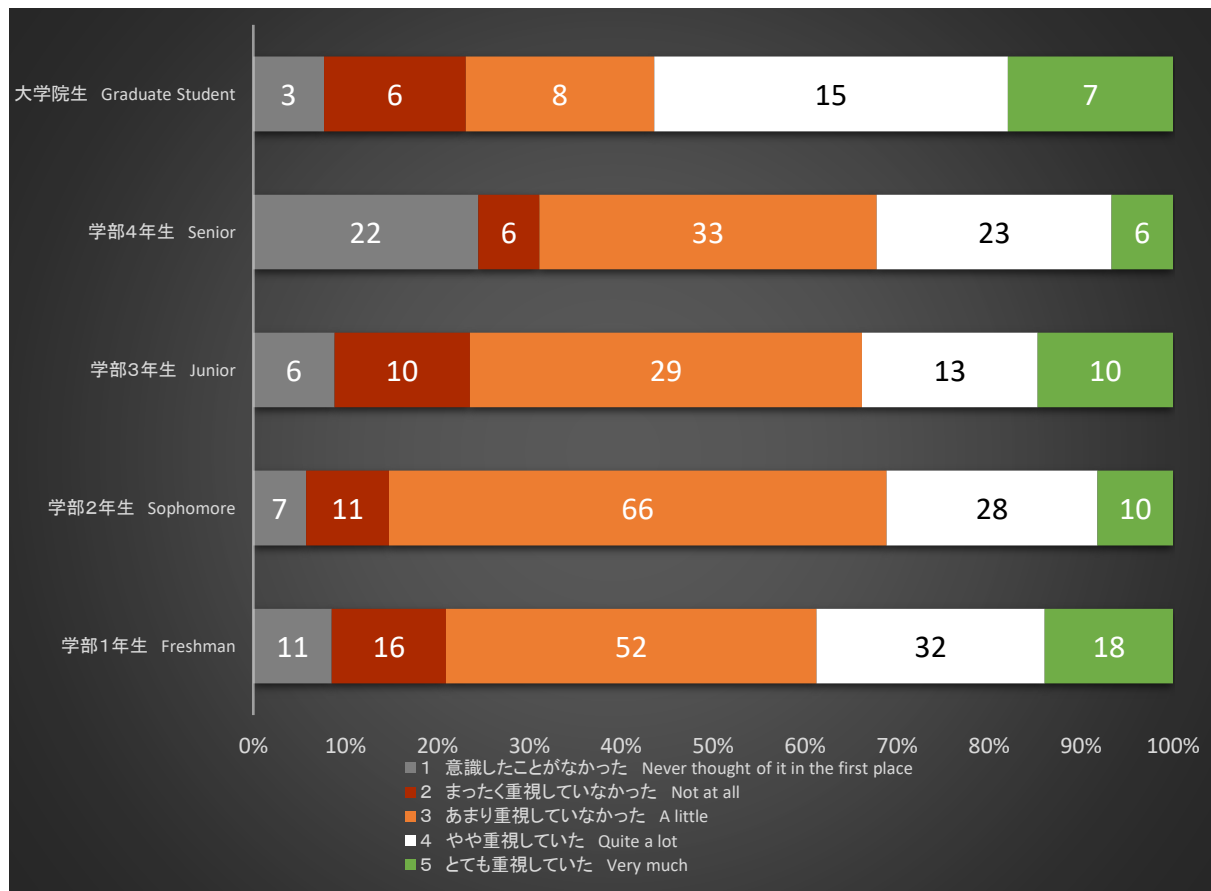
<2023年度>

| | | | |
|-----|---------------|--|-----|
| ● 5 | とても重視していた | Very much | 51 |
| ● 4 | やや重視していた | Quite a lot | 111 |
| ● 3 | あまり重視していなかった | A little | 188 |
| ● 2 | まったく重視していなかった | Not at all | 49 |
| ● 1 | 意識したことがなかった | Never thought of it in the first place | 49 |



「とても重視していた」、「やや重視していた」という回答の割合は、やや増加でした。

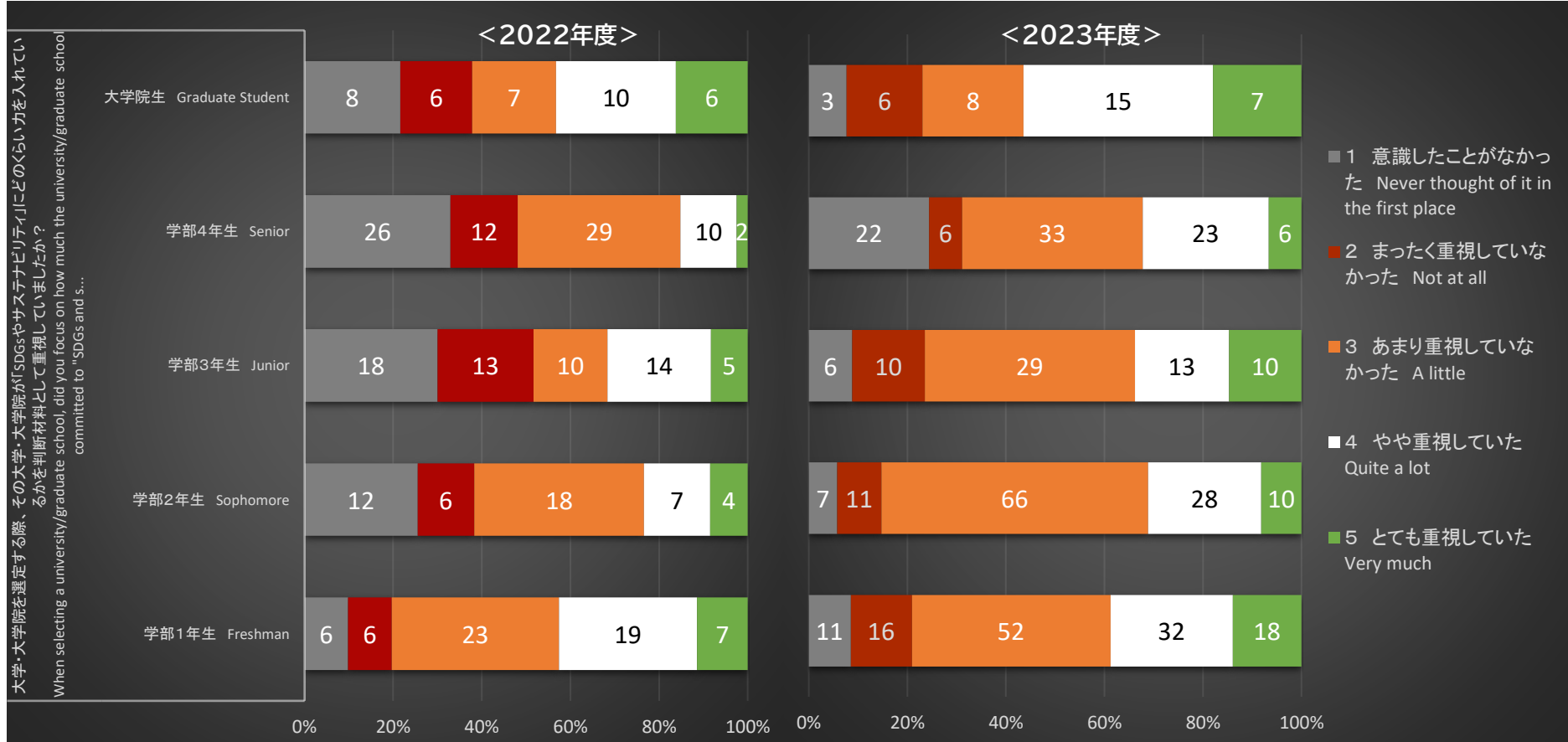
Q12・学年別比較) 大学・大学院を選定する際、その大学・大学院が「SDGsやサステナビリティ」にどのくらい力を入れているかを判断材料として重視していましたか？



前年度と比較すると、進学先がサステナビリティの取り組みに注力しているかを、判断材料として重視する人の割合は低下しています。

反対に、大学院生は進学先のサステナビリティへの取り組みを重視しており、上智大学大学院に地球環境研究所が設置されていることもその理由の一つとして考えられます。

Q12・前年度/学年別比較) 大学・大学院を選定する際、その大学・大学院が「SDGsやサステナビリティ」にどのくらい力を入れているかを判断材料として重視していましたか？



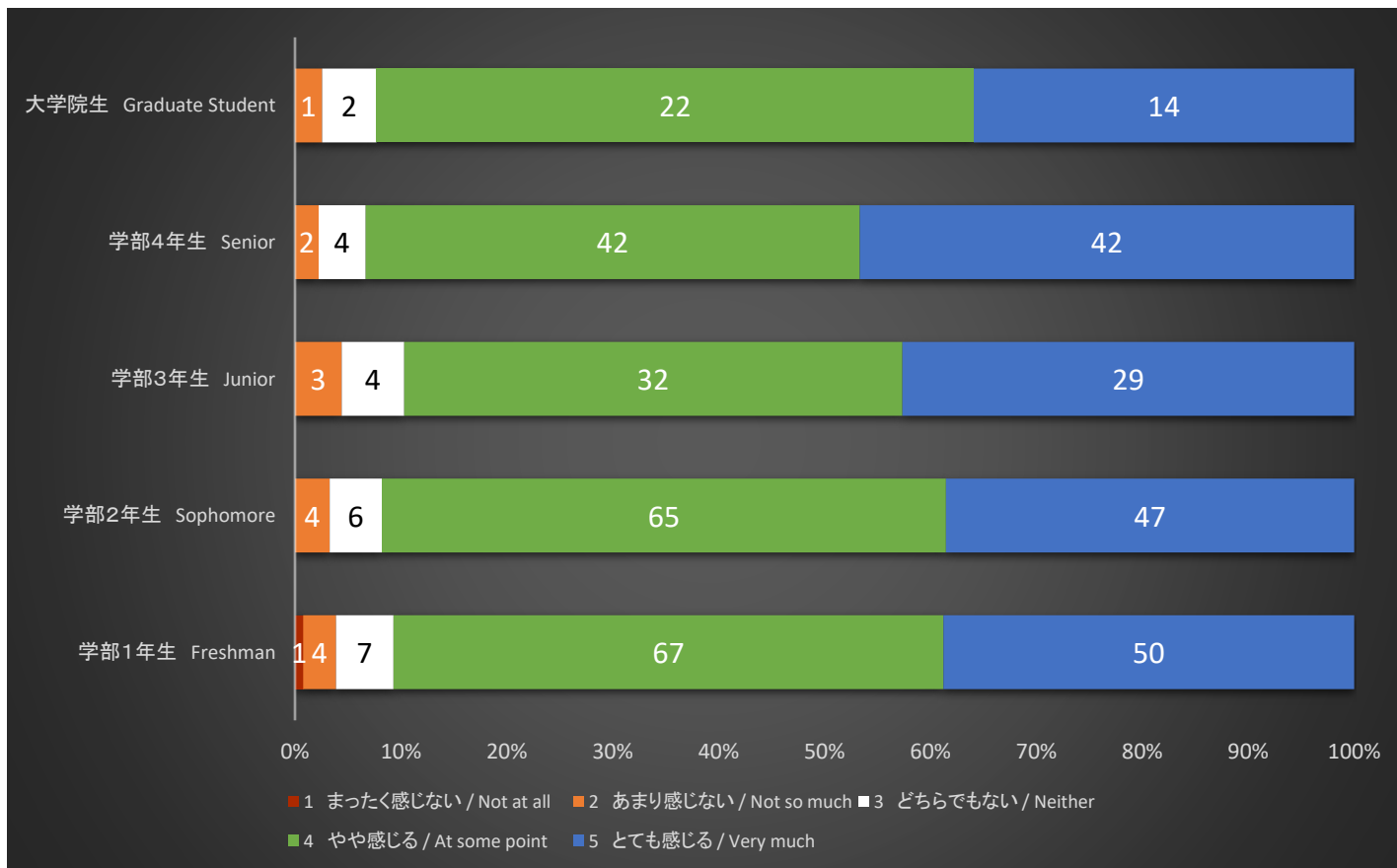
Q13)上智大学は、SDGsやサステナビリティに対して、意欲的に取り組んでいると感じますか？

| | | |
|-----|-----------------------|-----|
| ● 5 | とても感じる / Very much | 182 |
| ● 4 | やや感じる / At some point | 228 |
| ● 3 | どちらでもない / Neither | 23 |
| ● 2 | あまり感じない / Not so much | 14 |
| ● 1 | まったく感じない / Not at all | 1 |



上智大学のSDGsやサステナビリティへの取り組みに対して、回答者の90%以上が意欲的であると感じています。上智大学におけるSDGsやサステナビリティに関する授業の開講や研究、学生団体の活動や学内啓蒙活動の効果など、学生の目に触れる機会が多いことが要因として挙げられます。

Q13・学年別比較)上智大学は、SDGsやサステナビリティに対して、意欲的に取り組んでいると感じますか？



学年間で大きな差はなく、全体的に上智大学はSDGsやサステナビリティに対して、意欲的に取り組んでいると感じている、という回答が多かったです。

Q14)「上智学院サステナビリティ推進本部」を知っていますか？

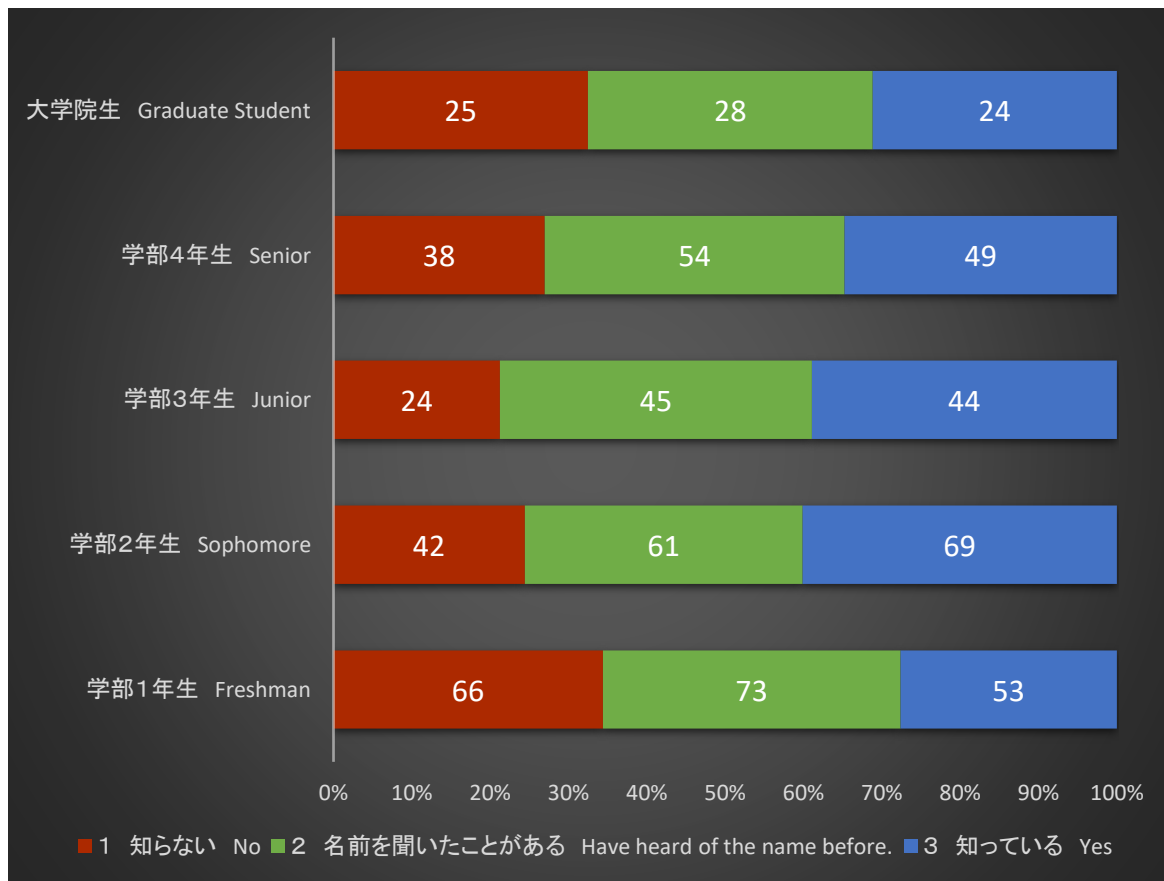
| | | | |
|-----|-------------|--------|-----|
| ● 3 | 知っている | Yes | 239 |
| ● 2 | 名前を聞いたことがある | Hav... | 261 |
| ● 1 | 知らない | No | 195 |



「上智学院サステナビリティ推進本部」の認知度については、「名前を耳にしたことがある」と回答した人が最も多い結果となりました。

7割が存在を認知しているという結果は、設立から3年目となる今年度としては肯定的に捉えられる結果となりました。

Q14・学年別比較)「上智学院サステナビリティ推進本部」を知っていますか？

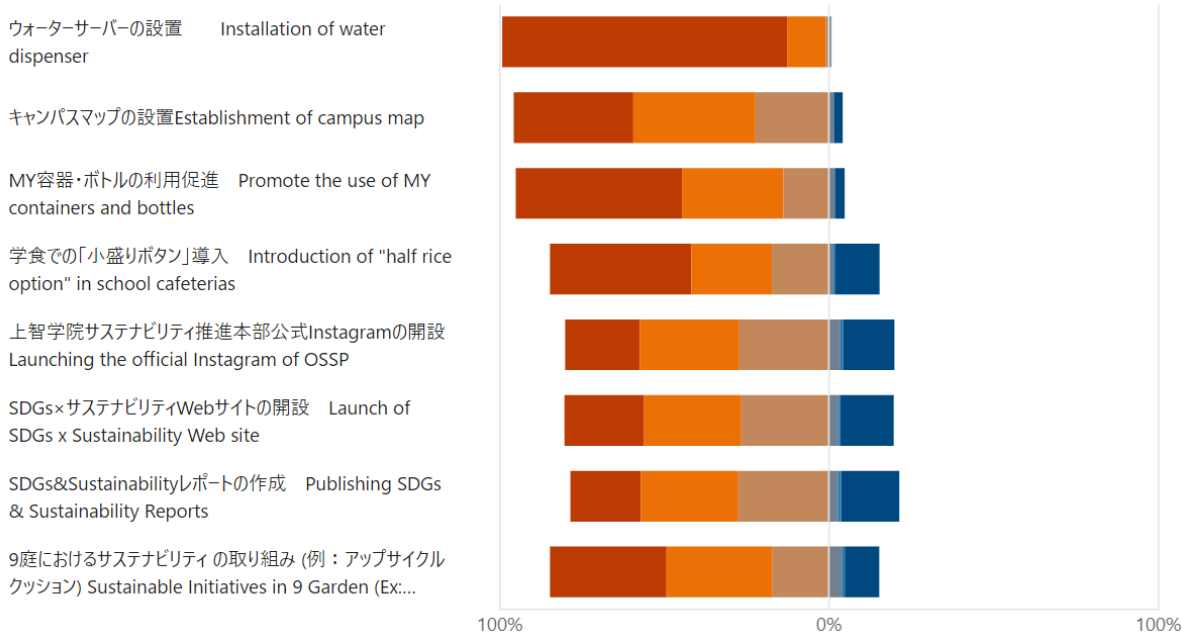


全体的な認知度は「名前を聞いたことがある」程度に留まっています。

認知度が高い学年は学部2年生、学部3年生であるのに対して、学部1年生の認知度は最も低く、次いで大学院生の認知度も低いという結果になりました。

Q14.) サステナビリティ推進本部が実施している取り組みの満足度を教えてください。 (取り組み一部抜粋)

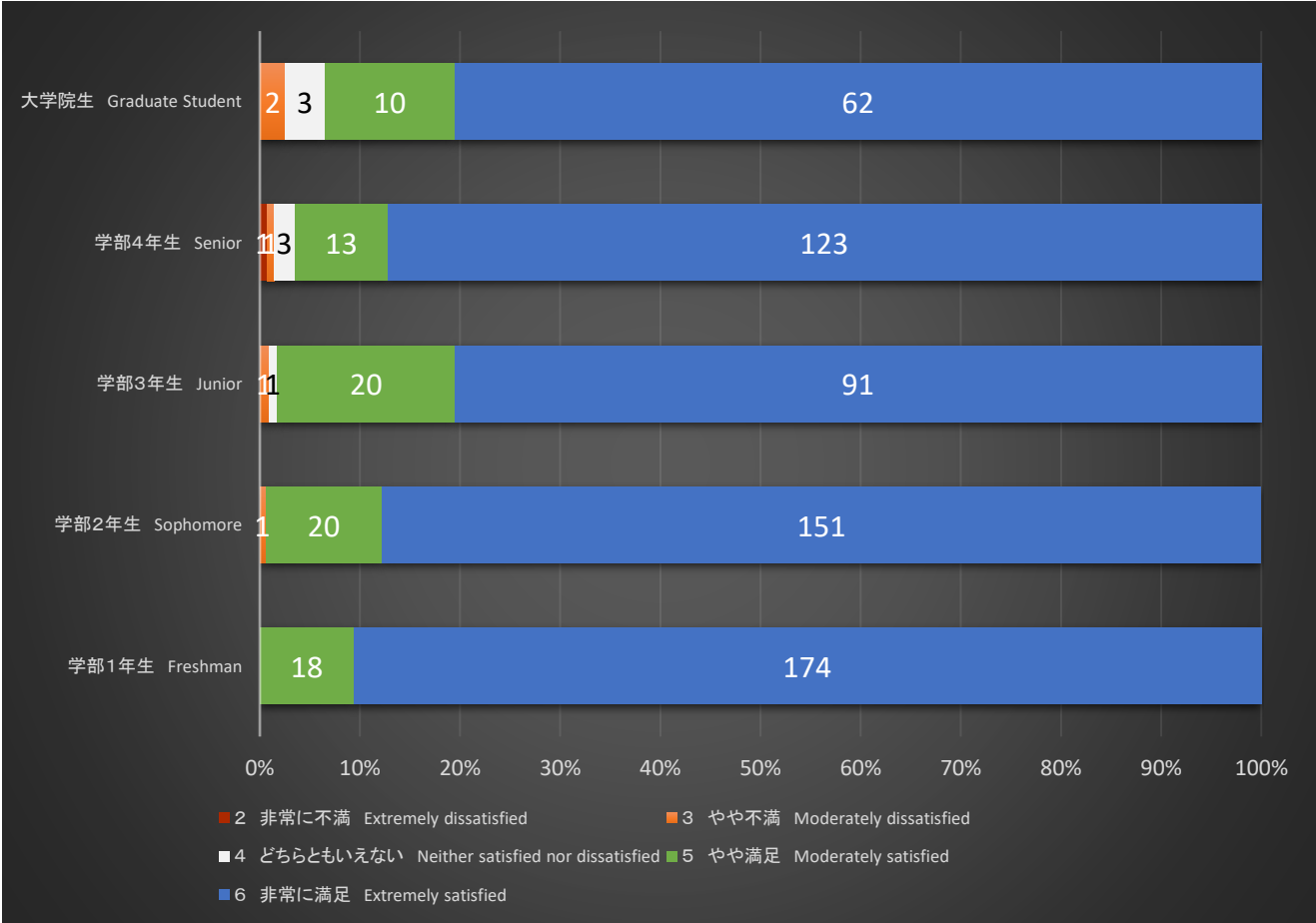
- 6 非常に満足 Extremely satisfied
- 5 やや満足 Moderately satisfied
- 4 どちらともいえない Neither satisfied nor dissatisfied
- 3 やや不満 Moderately dissatisfied
- 2 非常に不満 Extremely dissatisfied
- 1 存在を認知していない Not recognized



「ウォーターサーバーの設置」、
「MY容器・ボトルの利用促進」の
満足度が高いのと、「学食での『小
盛りボタン』導入」も満足度が高い
という結果になりました。

食や水に関する取り組みは、学生
の関心が高い傾向にあると考え
られます。

Q15・学年別比較) ウォーターサーバーの設置

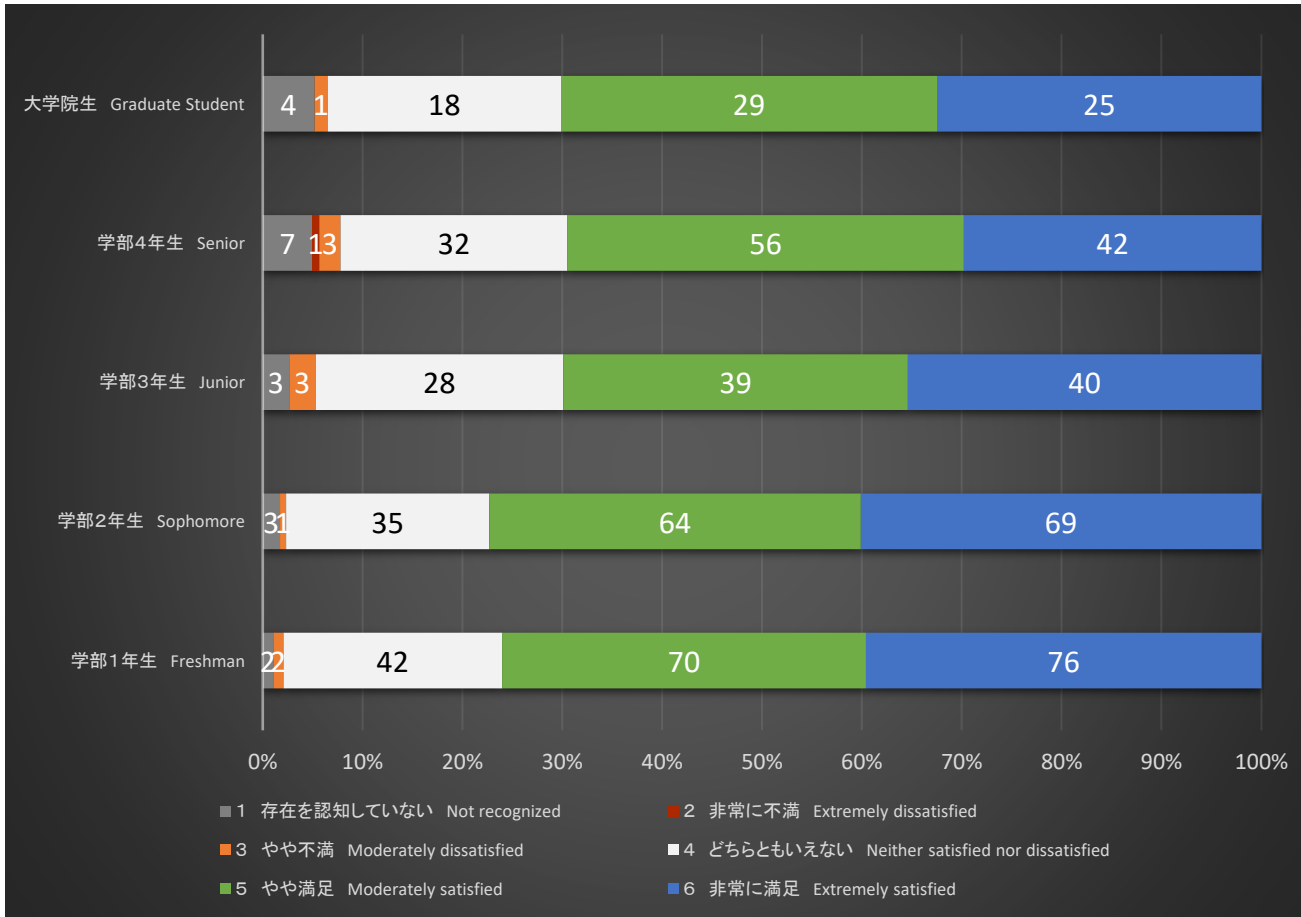


全学年で「非常に満足」と回答した人が80~90%以上という結果となり、ウォーターサーバーの設置は学生の間で非常に好評であることが伺えます。「存在を認知していない」と回答した人がゼロという結果から、認知度もかなり高いといえます。

「やや不満」「非常に不満」と回答した人も一定数おり、休み時間の混雑や、構造上、ウォーターサーバーが設置できない建物があるため、そうした点に不便さを感じていると思われます。

(参考)「ウォーターサーバー利用回数及びマイボトル持参率調査(2023年度)」を実施しました
<https://sophia-sdgs.jp/efforts/4529/>

Q15・学年別比較) キャンパスマップの設置

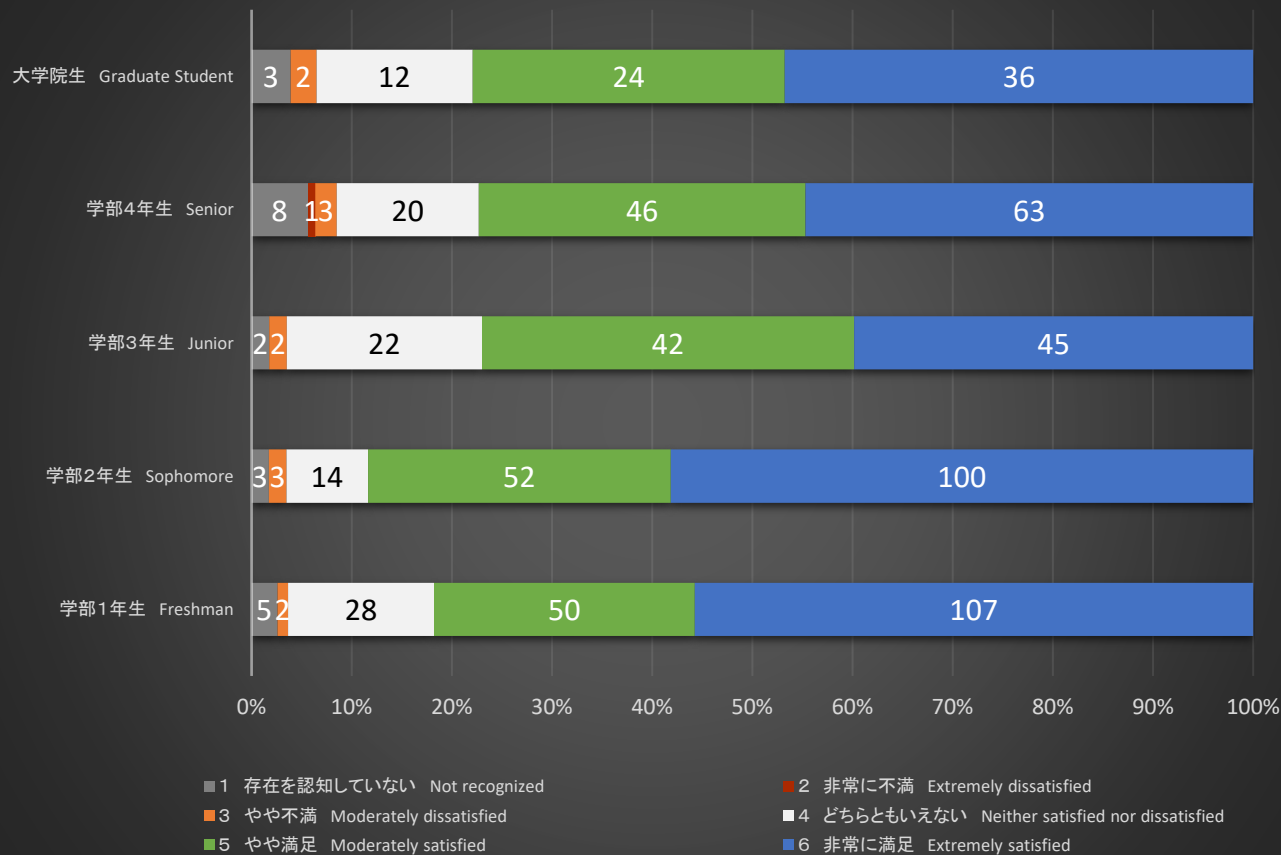


学年別で見ても、全体的に満足度が高い、回答でした。

サステナビリティ推進本部では、すべての利用者が迷うことなく安心してキャンパスを移動できるようにすることを目標に、四谷キャンパスのサインのユニバーサルデザイン化を進め、情報バリアの改善に取り組んでいます。その一環として、2022年度に「アクセシビリティマップ」を更新しました。その活動が認知されていると感じています。

(参考)四谷キャンパス アクセシビリティマップを更新しました
<https://sophia-sdgs.jp/efforts/1606/>

Q15 ・学年別比較) MY容器・ボトルの利用促進



「MY容器・ボトルの利用促進」については、「ウォーターサーバーの設置」に次いで高い満足度となっています。

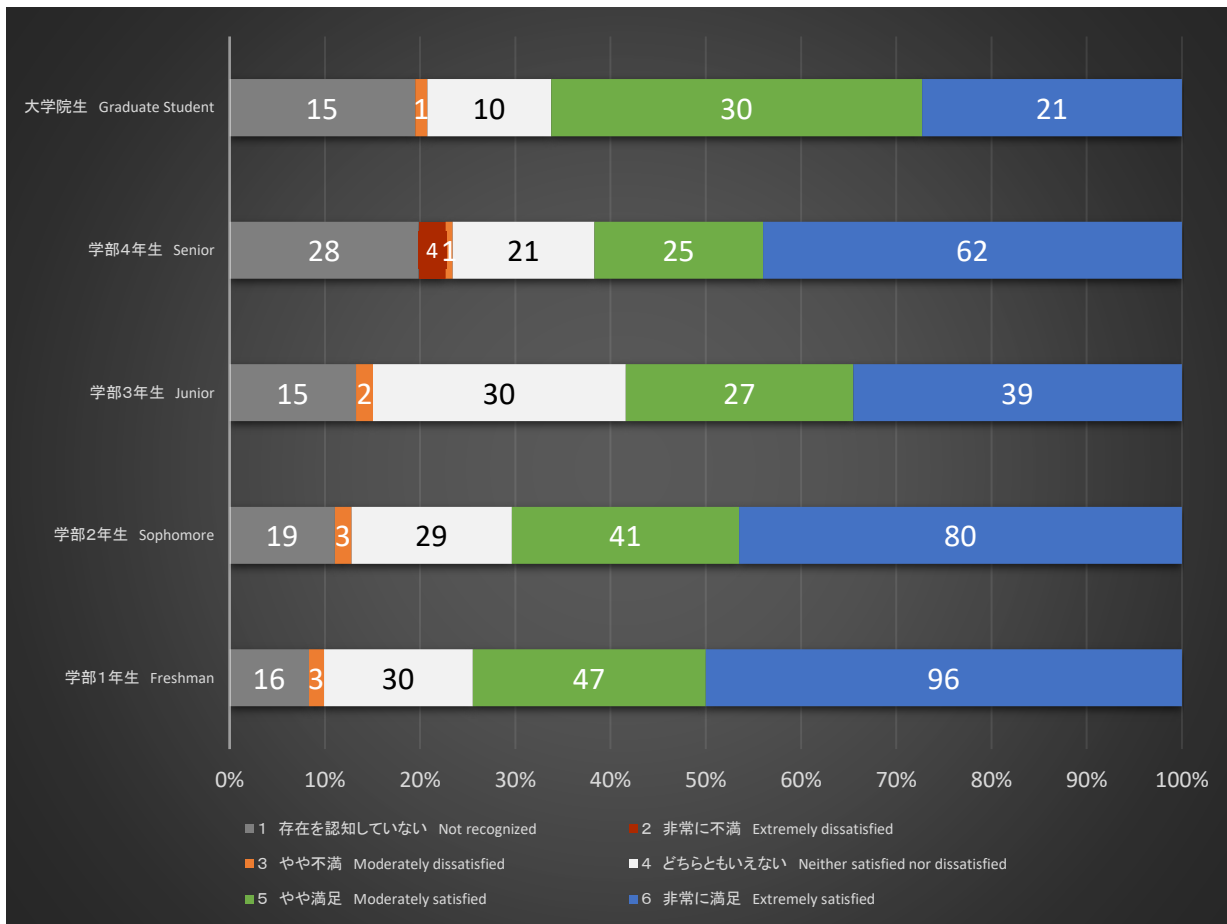
「やや不満」と「非常に不満」に答えた人は少なく、「存在を認知してない」にも、少数の人が回答しました。

特に、学部1年生と学部2年生が、満足していると回答している割合が高かったです。

(参考)キッチンカーへのMY容器持ち込みが一部店舗で可能になります
<https://sophia-sdgs.jp/efforts/86/>

(参考)MYボトル・タンブラー持ち込みを開始しました(9-CAFE、S-CAFE by PRONTO)
<https://sophia-sdgs.jp/efforts/1594/>

Q15・学年別比較) 学食での「小盛りボタン」導入



どの学年においても、「非常に満足」「やや満足」と回答する人が多く、多くの方が利用する学食で、目に留まったのでは、と思われます。

ただし、「存在を認知していない」という回答をする上級生は、一定数いました。

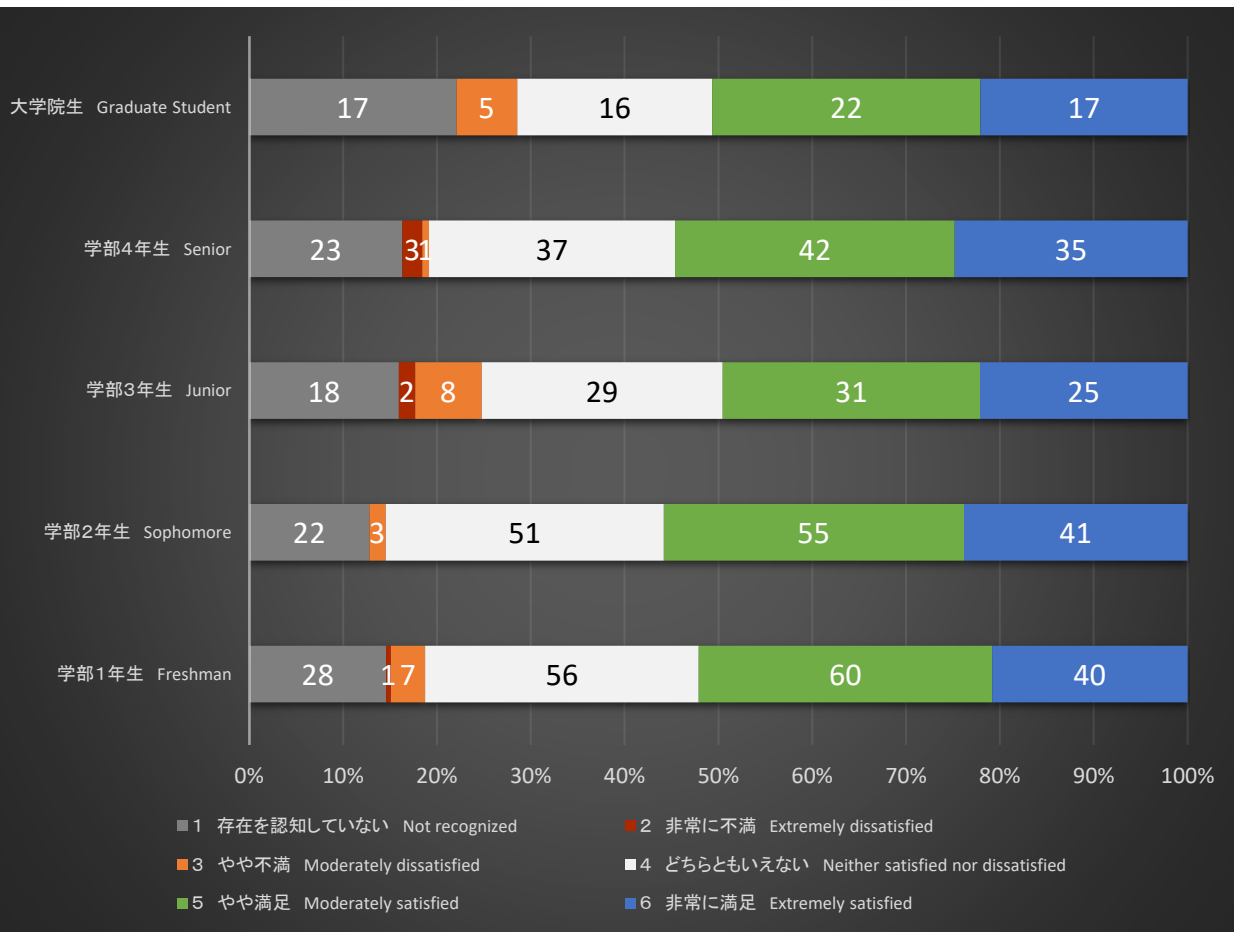
(参考)知っていますか？フードロス削減に繋がる学食の「小盛りボタン」
<https://sophia-sdgs.jp/efforts/3124/>



Q15・学年別比較) 上智学院サステナビリティ推進本部公式Instagramの開設

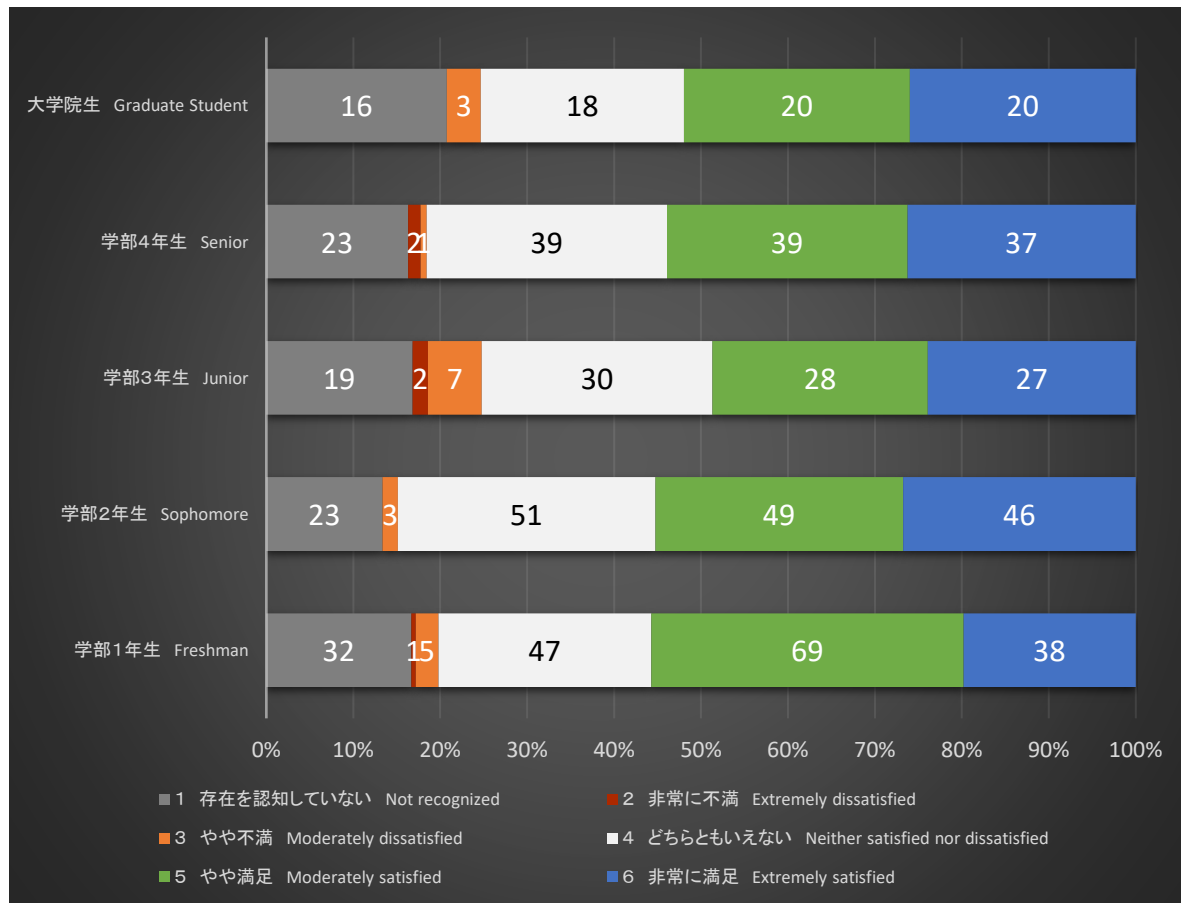
全体的に「やや満足」との回答が高く、学年別で比較すると学部2年生の満足度が高いという結果となりました。

また、「存在を認知していない」の回答も一定数伺えることから、よりInstagramの認知度向上に向けた活動を、積極的に行う必要があります。



上智学院サステナビリティ推進本部公式Instagram
https://www.instagram.com/sophia_ossip/

Q15・学年別比較) SDGs×サステナビリティWebサイトの開設



「非常に満足」と回答した人が多いのは学部2年生で、次いで学部4年生という結果となりました。

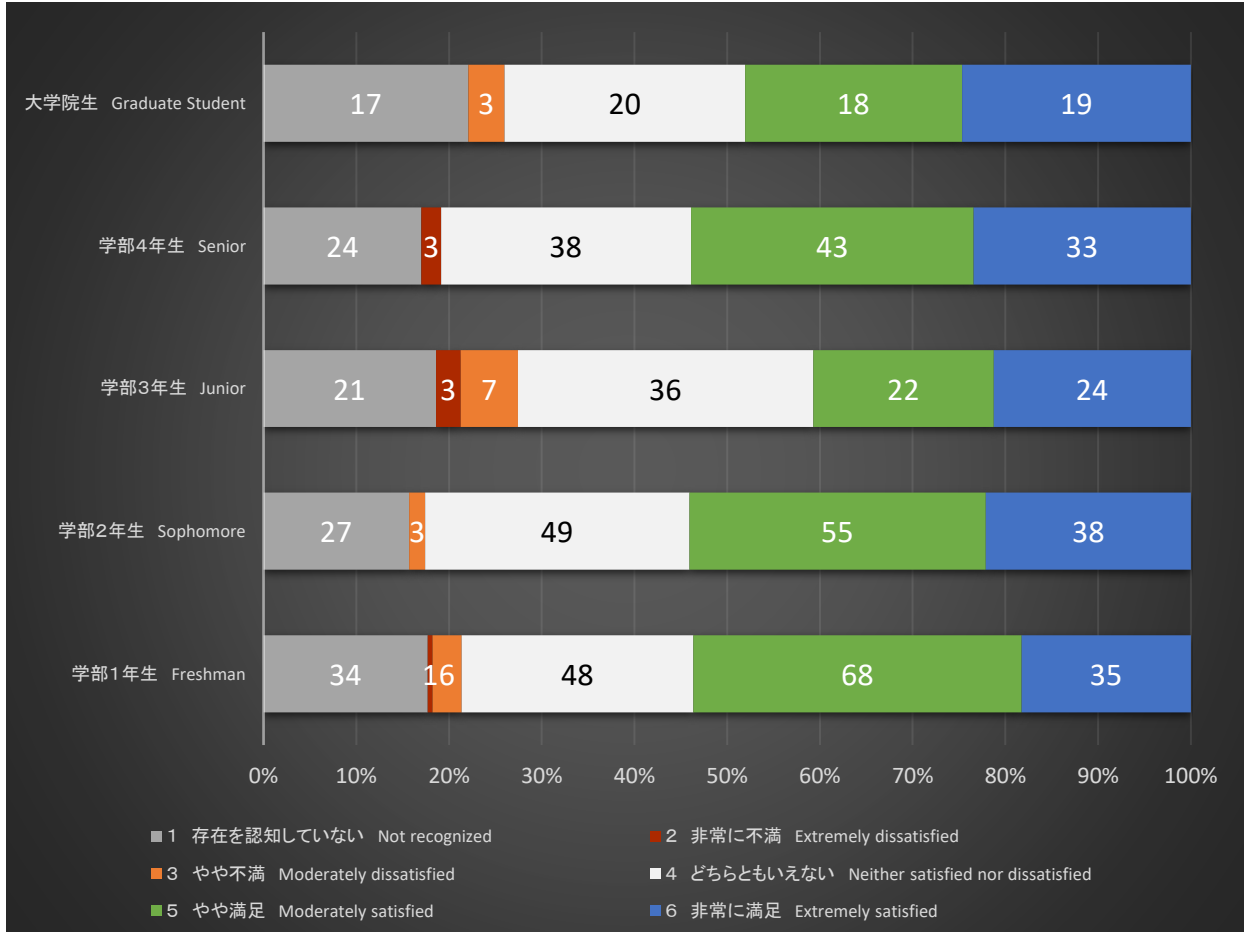
学部1年生の満足度が高いことから、Webサイトで発信しているイベント情報や学生団体へのインタビューなどを役立てているのではないかと推測します。

また、「存在を認知していない」と回答した人も各学年で一定数おり、認知度の向上に取り組む必要があります。



<https://sophia-sdgs.jp/>

Q15 ・学年別比較) SDGs&Sustainabilityレポートの作成



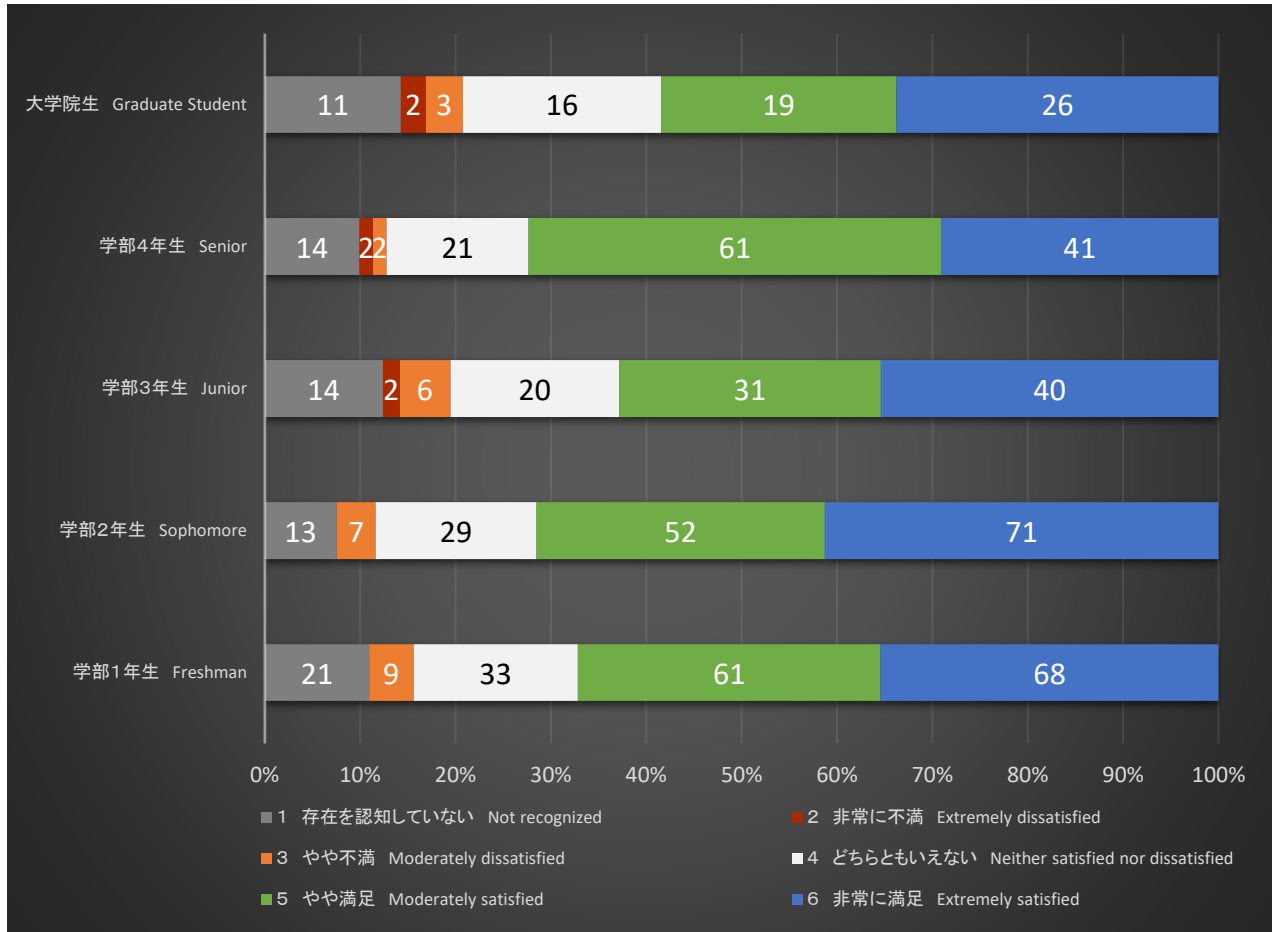
「SDGs&Sustainabilityレポートの作成」について、昨年度は「存在を認知していない」と回答した人が最も多かったことに対し、今年度はその割合が低く、全体的な認知度は向上したと見受けられます。

(参考)『上智大生のSDGs&サステナビリティに関する意識調査』報告書(2022年度)
<https://sophia-sdgs.jp/efforts/3717/>

学年別に見てみると、学部1年生、学部2年生の満足度が高く、これから学生生活を送る低学年にとって、上智大学の取り組みを一冊で把握できるレポートは、役立っているのではないかと考えます。

(参考)上智大学 SDGs & サステナビリティレポート2022-2023を作成しました
<https://sophia-sdgs.jp/efforts/4767/>

Q15・学年別比較) 9庭におけるサステナビリティの取り組み(例:アップサイクルクッション)



9号館アクティブcommons屋上庭園(通称9庭)における、サステナビリティの取り組みに対しては、全学年とも全体的に満足度は高い結果となりました。学生にとっての憩いの場として活用されていると考えられます。

一方、存在を認知していないと回答した人は全学年を通して約10%という結果を受け、9庭の場所、9庭に設置されているサステナブル什器、9庭が作られた背景に関する情報発信を強化していく必要があります。

(参考)アクティブcommons屋上庭園(9庭)についてグランドオープン(2023年5月19日)

<https://sophia-sdgs.jp/efforts/3989/>

4. 自由記述欄 生成AI Microsoft Copilotを使い、IR推進室職員が要約

Q16.) 今後、上智大学およびサステナビリティ推進本部が積極的に取り組んだ方がいいと考える、SDGsやサステナビリティに関する活動は何ですか？

このページは、上智大学の学生に対して行われたSDGsやサステナビリティに関する意識調査の、自由記述欄の一部です。学生たちは、上智大学で取り組んでほしい活動や、自分たちができることについて書いています。以下に、ポイントを10個にまとめています。

- ① **プラスチックゼロ運動**: 学生たちは、プラスチックの使用や廃棄に問題意識を持っており、ウォーターサーバーの増設やペットボトルキャップの回収などの具体的な提案をしています。プラスチックゼロ運動は、海洋汚染や気候変動などの環境問題に対処するための重要な取り組みです。
- ② **ジェンダー平等に関する活動**: 学生たちは、ジェンダーに関する教育や啓発、LGBTQ+コミュニティの支援、トイレや健康診断などの施設の改善などの活動を望んでいます。ジェンダー平等に関する活動は、人権や多様性の尊重、社会的包摂などの社会問題に寄与するための必要な取り組みです。
- ③ **フードロス削減**: 学生たちは、学食の残飯防止や廃棄食品の配布・販売などの活動を提案しています。フードロス削減は、食料安全保障や資源の有効活用などの持続可能な開発に貢献するための有益な取り組みです。
- ④ **節電・省エネ**: 学生たちは、エアコンやライトなどの電気の節約や、クリーンエネルギーの導入などの活動を求めています。節電・省エネは、エネルギーのアクセスや効率、温室効果ガスの排出削減などの環境問題に対応するための重要な取り組みです。

⑤ **ゴミの分別・リサイクル**: 学生たちは、ゴミ箱の増設やデザインの改善、ゴミの分別の徹底や細分化、リサイクル品の回収や配布などの活動を提案しています。ゴミの分別・リサイクルは、廃棄物の管理や資源の循環などの環境問題に対処するための有効な取り組みです。

⑥ **緑の保全・増加**: 学生たちは、校内の緑化や地域の緑豊かなまちづくりなどの活動を望んでいます。緑の保全・増加は、生物多様性の保護や気候変動の緩和などの環境問題に対応するための必要な取り組みです。

⑦ **バリアフリー化**: 学生たちは、エレベーターやスロープなどの設備の改善や、点字ブロックや手洗い場などの設置などの活動を求めています。バリアフリー化は、障がい者や高齢者などの社会的弱者のアクセシビリティや参加機会の向上などの社会問題に対応するための必要な取り組みです。

⑧ **質の高い教育の提供**: 学生たちは、SDGsやサステナビリティに関する教育や講演会の増加や多様化、教科書や教具の3Rや再生紙の利用、入試での不平等の改善などの活動を提案しています。質の高い教育の提供は、知識やスキルの習得や意識の向上などの持続可能な開発に貢献するための重要な取り組みです。

⑨ **貧困の撲滅**: 学生たちは、募金やフードバンク、子ども食堂などの活動を提案しています。貧困の撲滅は、人々の生活水準や健康状態、社会的包摂などの社会問題に対処するための必要な取り組みです。

⑩ **パートナーシップの構築**: 学生たちは、学外の団体や企業との協力や交流、留学生や国際情勢に詳しい人との意見交換などの活動を望んでいます。パートナーシップの構築は、多様な視点や経験の共有や、共通の目標に向けた協力などの持続可能な開発に貢献するための有益な取り組みです。

※自由記述欄のテキストを、上智学院 IR推進室職員(サステナビリティ推進本部兼務)が、Microsoft Copilotを使って要約。(入力内容は、LLMに学習されません)

5. まとめ

- ・今回の調査の回答者においては、SDGsやサステナビリティに関する意識は高く、「知っている」と回答した学生が96.5%を占めています。（ただし、意識が高い学生が回答している、という見方もあります）
- ・就職活動において、企業のSDGsやサステナビリティに関する取り組みを意識する学生が前年度と比べて増加しており、特に就職活動を控える学部2年生においては約70%の学生が意識していると回答していました。
- ・学部1年生、学部2年生のサステナビリティへの意識は高いことが伺え、サステナビリティ推進本部の各取り組みについても、「満足」と回答する人が多く、全体的にサステナビリティに関してポジティブな印象を抱いていると思われます。
- ・サステナビリティ推進本部の取り組みに対しては、取り組み内容によって満足度や認知度に差はあるものの、「ウォーターサーバーの設置」、「MY容器・ボトルの利用促進」、「学食での「小盛りポタン」導入」といった、学生に身近な取り組みに対する認知度および満足度は高く、多くの学生が利用していることも伺えます。
- ・回答者数は2022年度の284人に比べて、2023年度は695人と増えましたが、認知度がまだ高いとはいえません。サステナビリティ推進本部の認知度を上げ、上智学院構成員の行動変容に繋げていくことが、継続的な課題です。

学校法人上智学院 サステナビリティ推進本部

sustainability-co@sophia.ac.jp



<https://sophia-sdgs.jp/>

上智大学

SDGs & サステナビリティレポート
2022-2023



2023年11月末に、上智大学 SDGs & サステナビリティレポート2022-2023を発刊しました